

# 02 接着剤

きちんと接着するには、  
どうしたらいいのでしょうか？



文具店やホームセンターに行くとたくさんの種類の接着剤が売られています。接着剤は接着する物の表面にあるデコボコした隙間に入り固まることで、物と物とを接着することができます。プラスチックやガラスのように表面が平坦に見える物でも顕微鏡で見ると表面がデコボコしているので接着することができます。

しかし、せっかく接着剤を使って接着したのに、すぐにはがれてしまったことはありませんか？

接着剤は接着する物の種類によってうまく接着できる場合とできない場合があります。また、接着剤により接着する方法が異なります。

接着剤は箱や説明書にその接着剤が接着できる物の種類が表示されています。表示されていない物の接着に使うと、うまく接着しないだけでなく、接着剤を塗った部分が溶けたり、変形することがあります。一度、溶けたり変形をしてしまったものは元に戻すことはできません。

接着剤を使うときは、必ず接着する物にあったものを選ぶようにしましょう。

きちんと接着するためには接着剤を塗る部分をきれいにしておき、油・水・サビ・ほこり・塗料などを落としておきます。また、できるだけ平らにして接着する物同士がぴったりとつくようにしておきます。

木やコンクリート、布など水を吸い込む性質のある物はよく乾燥させてから接着します。

接着剤を塗るときは塗りすぎないように、均一に塗ります。接着剤により、接着する片方だけ

に塗るものと両方に塗るものがあります。

接着剤によっては（ゴム系接着剤など）、塗ってすぐに接着するのではなく、5～10分程度たってから接着するものもあります。

接着した後は完全に乾くまでそのままにしておきます。乾くまでの時間は接着剤の箱や説明書に書いてあります。完全に乾く前に接着した部分を動かしたり、力を加えたりすると、隙間ができてしまい、きちんと接着することができず、はがれの原因となります。

瞬間接着剤を除き、接着剤が完全に乾くまでには数時間かかるものがほとんどです。

**確実に接着するには、次のことを守りましょう。**

- 説明書をよく読みましょう。
- 接着する物にあった接着剤を使用しましょう。
- 接着剤を塗る部分をきれいにしましょう。
- 接着後は完全に乾くまで待ちましょう。

(平成19年5月)

